

2025年2月17日

公共交通オープンデータ協議会

国土交通省 情報政策本部 情報政策課



「公共交通オープンデータチャレンジ 2024 -powered by Project LINKS-」 入賞作品を発表

公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村健 東京大学名誉教授/INIAD cHUB(東洋大学情報連携学術実業連携機構) 機構長）と国土交通省情報政策本部情報政策課は、「公共交通オープンデータチャレンジ 2024 powered by Project LINKS-」の最終審査会を、2025年2月15日（土）にINIADホール(北区・赤羽台)で開催し、入賞作品を発表しました。

本コンテストは、多数の公共交通関連のデータや国土交通省のオープンデータを一般の開発者に公開し、それらを活用したアプリケーションを開発、応募していただく、賞金総額 300 万円のアプリケーションコンテストです。東日本旅客鉄道株式会社をはじめとした 25 の鉄道事業者、71 の路線バス事業者、226 のコミュニティバス、23 のフェリー事業者、5 社の航空・空港関係事業者、そして 2 社のシェアサイクル事業者の協力を得たほか、国土交通省が進める Project LINKS とも連携し、公共交通分野のオープンデータコンテストとしては、過去最大規模となりました。

コンテストには国内外から約 500 人の開発者がエントリーし、多数の応募作品が寄せられました。一次審査の結果、17 作品がファイナリストとして選出され、最終審査会でのプレゼンテーションが行われました。6 名の審査員による厳正なる審査の結果、1 本の最優秀賞、2 本の準最優秀賞、4 本の優秀賞、4 本の審査員特別賞が選ばれました。また、この他に特別賞として JR 東日本賞、Project LINKS 賞、INIAD 賞が選ばれました。

今回、最優秀賞に選ばれたのは、「急がば漕げマップ(西片トコトコ探索会)」でした。準最優秀賞には、「PoiCle / ぼいくる(チームぼいくる)」、「RailroadCrossFree(金海英・正治咲良・佐藤彰洋)」の 2 作品が選ばれました。優秀賞には、「公共交通分析ツール - SPECTRA PROJECT(SPECTRA PROJECT)」、「GTFS box(草薙昭彦)」、「住みログ(住みログ)」、「メトロファインダー(東真史)」の 4 作品が選ばれました。審査員特別賞には、「Annelida(untitled0.)」、「オンライン車内アナウンス AOI システム(株式会社ケイエムアドシステム)」、「CALOCULATE(同志社大学経済学部宮崎耕ゼミ「チーム MIYAZAKI」)」、「ここいく?(OTTOP オフ会)」の 4 作品が選ばれました。



このコンテストの審査員長で本協議会の会長である坂村健は、以下のように講評を述べています。

「今回のチャレンジは、公共交通オープンデータ協議会としては通算 5 回目のコンテストとなります。今まで以上に多くのデータが公開され、多種多様なデータを組み合わせた、レベルの高い作品が多数寄せられました。最優秀賞に選ばれた『急がば漕げマップ』も、公共交通オープンデータセンターが公開する鉄道関連のデータとシェアサイクル関連のデータ、さらに交通センサスのデータを組み合わせ、鉄道を使うよりも自転車を活用した方が良いルートを探することができるものです。事前の想定を超えて良い作品が多く寄せられ、当日の審査会では急遽、準最優秀賞も設定することになりました。本チャレンジを通じて、公共交通オープンデータの新たな使い道が広がり、公共交通の利用者にとっても、また公共交通を支える事業者にとっても、より良い社会を創り出す一助となることを期待しています。」

また審査員を務めた国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課／情報政策課 総括課長補佐 Project LINKS テクニカル・ディレクターの内山 裕弥氏は以下のように述べています。

「数多くの応募をいただきどうもありがとうございました。大変優秀な作品が多く、審査にとっても難儀しました。

今回の「チャレンジ」は、国土交通省が進める「Project LINKS」と連携した共催として開催しました。LINKS は、国土交通分野に存在する様々な情報の「データ化」と、これを活用したオープン・イノベーションの創出を進める取組です。

今回の「チャレンジ」では、GTFSをはじめとする様々な交通データだけでなく、まちづくりに関するデータや各種の統計データなどが積極的に活用されており、まさしく国土交通分野のデータから新たな価値が生まれる姿を目の当たりにさせていただきました。

また、作品自体も、交通便利を向上させるソリューションだけでなく、「交通空白」の解消や事業生産性の向上、まちづくりとの連携など、昨今の我が国における課題をとらえ、解決策を提示するものが多く、政策的な示唆にも富むものでした。

国土交通省では、引き続き GTFS など交通情報の標準データの整備とその活用を推進していきます。今回の「チャレンジ」をきっかけに、さらなるイノベーションが生まれることを期待しています。」

各入賞作品及びその詳細につきましては、以下の「公共交通オープンデータチャレンジ 2024 -powered by Project LINKS-」の公式 web サイトに掲載しておりますので、是非、ご参照ください。

- <https://challenge2024.odpt.org/>

公共交通オープンデータ協議会では、今後も公共交通オープンデータ関連イベントの開催や、公共交通データの配信プラットフォームである「公共交通オープンデータセンター」の運営等を通じて、日本の公共交通分野のDXをさらに加速してまいります。

以上

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局（YRP ユビキタス・ネットワークング研究所内）

担当：新堂・柏 電話：03-5437-2270、E-mail：odpt-office@ubin.jp

【参考資料】

<「公共交通オープンデータチャレンジ 2024 -powered by Project LINKS-」入賞作品一覧>

賞	作品名	応募者名（敬称略）
最優秀賞	急がば漕げマップ	西片トコトコ探索会
準最優秀賞	PoiCle / ぽいくる	チームぽいくる
	RailroadCrossFree	金 海英・正治 咲良・佐藤 彰洋
優秀賞	公共交通分析ツール - SPECTRA PROJECT	SPECTRA PROJECT
	GTFS box	草薙 昭彦
	住みログ	住みログ
	メトロファインダー	東 真史
審査員特別賞	Annelida	untitled0.
	オンライン車内アナウンス AOI システム	株式会社ケイエムアドシステム
	CALOCULATE	同志社大学経済学部宮崎耕ゼミ「チーム MIYAZAKI」
	ここいく？	OTTOP オフ会
特別賞 （東日本旅客鉄道賞）	丸亀市バス停 SNS ウェブアプリ 「バスかめファン！」	三菱地所設計 + Pacific Spatial Solutions
	りちゃぶる（東京版）	横関 倅多・後藤 晴
特別賞 （Project LINKS賞）	OcRail	久田 智之
	公共交通分析ツール - SPECTRA PROJECT	SPECTRA PROJECT
特別賞 （INIAD賞）	Annelida	untitled0.
	おでかけ提案アプリ まちマッチング	高木健太
	Station Area Database Map	白井健祐
	LeafLane - Go the Green Way	Nam Pham

【参考資料】

<「公共交通オープンデータチャレンジ 2024 -powered by Project LINKS-」開催概要>

[主催]

公共交通オープンデータ協議会、国土交通省

[共催]

INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）、東京大学大学院情報学環ユビキタス情報社会基盤研究センター、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）

[特別協力]

東京都、東日本旅客鉄道株式会社、MobilityData、グーグル合同会社、YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

[協力]

<鉄道>

明知鉄道、伊勢鉄道、小田急電鉄株式会社、京都市交通局、熊本市交通局、熊本電鉄、京王電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相模鉄道株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、多摩都市モノレール株式会社、東急電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社、東京都交通局、東京臨海高速鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、富山地方鉄道、日本貨物鉄道株式会社、函館市企業局、東日本旅客鉄道株式会社、万葉線、山形鉄道株式会社、株式会社ゆりかもめ、横浜市交通局

<路線バス>

あおい交通、青森市企業局交通部、秋葉バスサービス株式会社、阿佐海岸鉄道株式会社、伊豆箱根バス株式会社、糸魚川バス株式会社、羽後交通株式会社、宇野自動車、大島旅客自動車株式会社、小田急バス株式会社、加越能バス、神奈川中央交通株式会社、川崎市交通局、川崎鶴見臨港バス株式会社、関越交通株式会社、関東バス株式会社、北恵那交通、北設楽郡公共交通活性化協議会、京都市交通局、京都バス株式会社、草軽交通株式会社、くしもと観光周遊バス推進協議会、熊野御坊南海バス株式会社、群馬中央バス株式会社、株式会社群馬バス、京王電鉄バス株式会社、京成トランジットバス株式会社、京福バス株式会社、国際興業株式会社、琴参バス株式会社、四国交通株式会社、下津井電鉄株式会社、株式会社上信観光バス、小豆島オーリーブバス株式会社、庄内交通、新常磐交通株式会社、生活バス四日市、西武バス株式会社、相鉄バス株式会社、株式会社タケヤ交通、千曲バス株式会社、中紀バス、東急バス株式会社、東京都交通局、東濃鉄道、東武バス株式会社、徳島バス株式会社、徳島バス南部株式会社、富山地方鉄道、永井運輸株式会社、長電バス株式会社、南海りんかんバス株式会社、西讃観光、西東京バス株式会社、日本中央バス株式会社、根室交通株式会社、濃飛乗合自動車（濃飛バス）、バスネット津、浜松バス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日立自動車交通株式会社、株式会社フジエクスプレス、船木鉄道株式会社、北振バス株式会社、北海道拓殖バス株式会社、南信州地域交通問題協議会（南信州広域連合）、明光バス株式会社、最上川交通、合同会社やんばる急行バス、横浜市交通局、龍神自動車株式会社

<コミュニティバス>

赤磐市、明石市、秋田市、赤穂市、朝来市、山形県朝日町、富山県朝日町、芦屋町、あま市、有田川町、淡路市、安城市、安中市、飯山市、伊賀市、伊勢市、市川町、一関市、猪名川町、稲城市、揖斐川町、射水市、岩出市、上田市、魚津市、恵那市、奥州市、大泉町、大江町、大垣市、大蔵村、大台町、大町市、山形県小国町、小野市、尾花沢市、小矢部市、遠賀町、海津市、海陽町、鏡野町、掛川市、加古川市、鹿児島市、加西市、笠松町、葛飾区、加東市、香取市、山形県金山町、可児市、鹿沼市、河北町、嘉麻市、上市町、上勝町、神河町、上郡町、上山市、亀山市、刈谷市、川上村、川崎町、菊田町、木曾岬町、北九州市、北島町、北名古屋、紀の川市、岐阜市、紀宝町、清瀬市、草津市、郡上市、国立市、熊野市、黒部市、桑名市、甲賀市、神戸市、古賀市、国分寺市、小松市、寒河江市、酒田市、鮭川村、寒川町、佐用町、三条市、静岡市、島田市、上越市、小豆島町、庄内町、白鷹町、新温泉町、新宮町、新庄市、新城市、須恵町、須坂市、すさみ町、洲本市、諏訪市、瀬戸内市、瀬戸市、添田町、高岡市、高砂市、高島市、高山市、宝塚市、田川市、武豊町、多気町、立川市、たつの市、長野県立科町、館山市、立山町、千曲市、知多市、千代田区、知立市、つくば市、津市、土浦市、鶴岡市、つるぎ町、天童市、東員町、東京都中央区、東北町、土岐市、徳島市、徳島市交通局、常滑市、戸沢村、砺波市、鳥羽市、富山市、豊明市、豊岡市、豊田市、長井市、那珂川町、長久手市、豊山町、中津川市、中野市、長野市、長浜市、那賀町、中山町、流山市、南木曾町、名張市、鳴門市、南砺市、南陽市、西尾

市、西川町、西宮市、西東京市、西脇市、日光市、日進市、二宮町、入善町、直方市、白山市、階上町、羽島市、早島町、飯能市、東浦町、東近江市、東根市、東村山市、飛騨市、七宗町、日野町、姫路市、平戸市、福崎町、福津市、豊前市、東京都町田市、松阪市、松茂町、松本市、真庭市、真室川町、瑞浪市、瑞穂町、御嵩町、三豊市、南あわじ市、南伊勢町、南知多町、美波町、東みよし町、美濃加茂市、みやま市、みよし市、三好市、宗像市、村上市、村山市、本巢市、守山市、八百津町、野洲市、柳川市、養父市、山形市、山県市、大和郡山市、山辺町、結城市、横須賀市、吉野川市、米沢市、栗東市、和光市、度会町

<フェリー>

斎島汽船株式会社、宇和島運輸株式会社、鹿児島市船舶局、九商フェリー株式会社、酒田市定期航路事業所、三和商船株式会社、四国開発フェリー株式会社、新宮町、周防灘フェリー株式会社、種子屋久高速船株式会社、東海汽船株式会社、鳥羽市、鳴門市、日豊汽船株式会社、羽幌沿海フェリー株式会社、姫島村、備後商船株式会社、株式会社富士急マリリゾート、富士山清水港クルーズ株式会社、マルエーフェリー株式会社、丸文松島汽船株式会社、宗像市、株式会社名門大洋フェリー

<航空>

全日本空輸株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、成田国際空港株式会社、日本航空株式会社、日本空港ビルデング株式会社

<シェアサイクル>

OpenStreet 株式会社、株式会社ドコモ・バイクシェア

[オープンデータ・パートナー]

PLATEAU、国土交通データプラットフォーム、一般社団法人デジタル地方創生推進機構（VLED）、総務省、気象庁、警察庁、国土地理院

[スケジュール]

- コンテスト実施期間：2024年7月16日(火)～2025年3月14日(金)
- 応募期間：2024年10月1日(火)～2025年1月17日(金)
- 最終審査会・表彰式：2025年2月15日(土) / INIAD ホール

[審査基準]

特に以下の観点重視し、総合的に評価しました。

- 社会課題解決への寄与
- オープンデータ活用におけるインパクト
- 技術的な完成度
- UI/UX 面の完成度

[審査]

以下の審査員による最終審査会を実施しました。

(審査員長)

- 坂村 健：公共交通オープンデータ協議会 会長、東京大学名誉教授、INIAD cHUB（東洋大学情報連携学 学術実業連携機構）機構長

(審査員)

- 内山 裕弥：国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課 / 情報政策課 総括課長補佐、Project LINKS テクニカル・ディレクター
- 伊藤 健一：東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 戦略・プラットフォーム部門 MaaS ユニット ユニットリーダー
- 吉村 有司：東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授
- 篠原 徳隆：株式会社ヴァル研究所 執行役員 MaaS 事業部 プロデューサー
- 別所 正博：INIAD（東洋大学情報連携学部）教授

[コンテスト Web サイト URL]

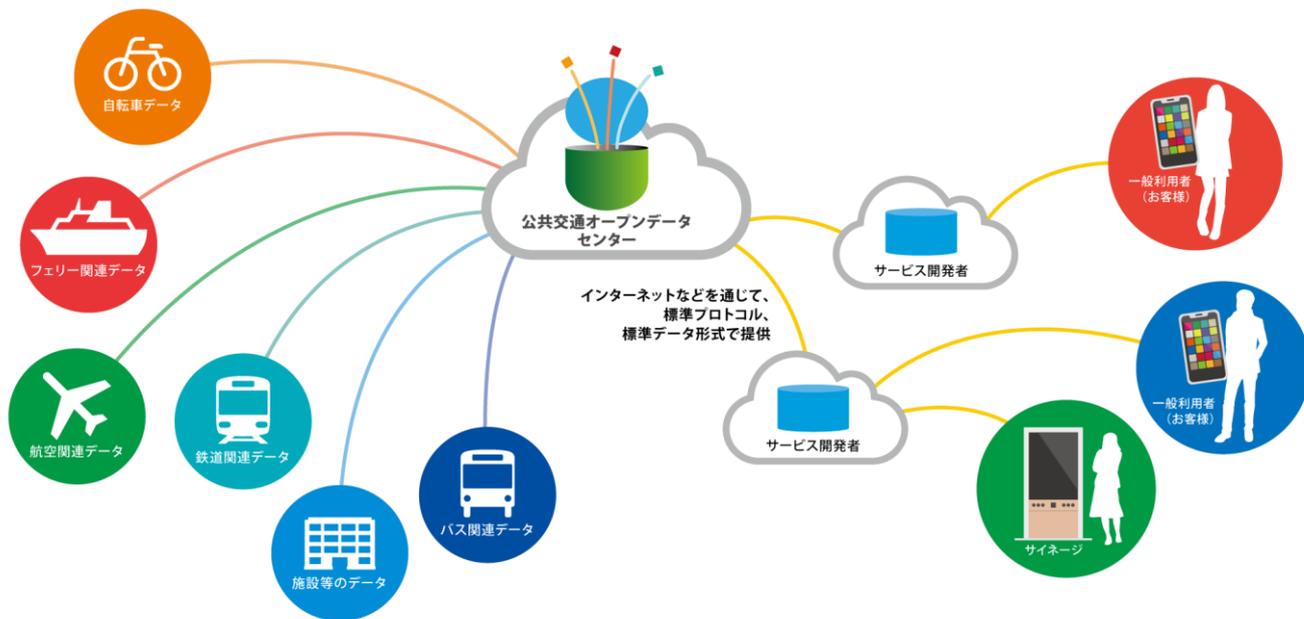
- <https://challenge2024.odpt.org/>

【補足資料】

＜公共交通オープンデータ協議会＞

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者および ICT 事業者等 144 団体(2025 年 2 月 17 日現在)で構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空、フェリー、シェアサイクルの分野において、公共交通関連データのオープン化に向けた活動を行っています。2019 年 5 月より、さまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」の運用を開始しています。

- <https://www.odpt.org/>



公共交通オープンデータセンター